

全般

Appleは、MacOS 10.14(これはMojaveとも呼ばれます)の新しいセキュリティメカニズムを導入しています。

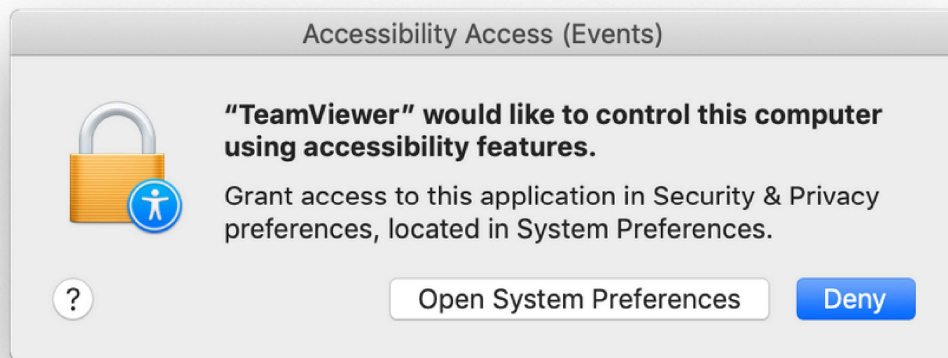
このMacOS 10.14はTeamViewerのようリモートコントロールアプリケーションに特別なアクセス権を与える必要があります。そのアクセス権がなければ、Mojaveを実行しているMacに接続しても画面のみの表示となり、マウスやキーボードでは操作ができません。

このアクセス権はMac上でローカルに付与され、そのアクセス権を付与するには管理者権限が必要です。

TeamViewerはこのアクセス権を単独で付与することはできません。また、別のコンピュータからTeamViewer接続を介してリモートからアクセス権を付与することもできません。

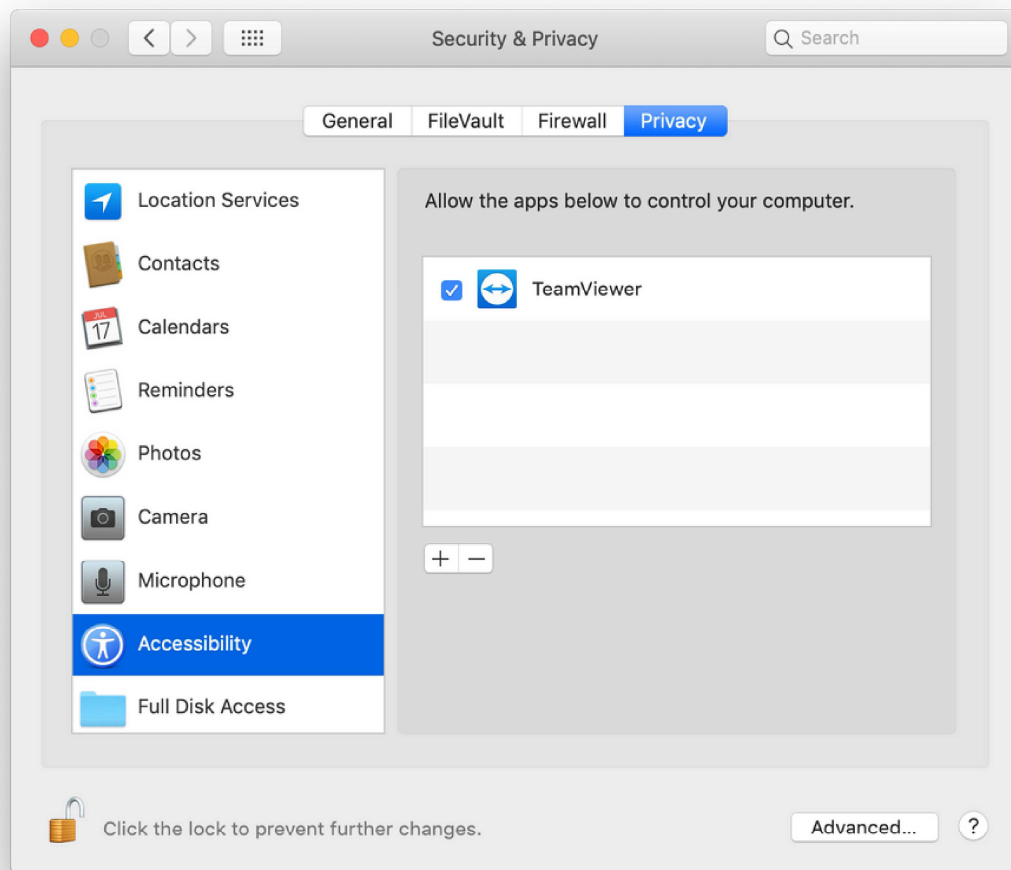
MacでTeamViewerへのアクセスを許可する方法

1. MacOS 10.14を実行しているコンピュータに初めてTeamViewerを接続する場合は、このアクセシビリティアクセスダイアログが表示されます。



注意: このダイアログは、各アプリに対して1回のみ表示されます。TeamViewerをアンインストールして再インストールしても、再度表示されません。

2. 「システム環境設定を開く」ボタンをクリックします。セキュリティとプライバシーの設定内のプライバシーパネルの中にある、アクセシビリティセクションに移動します。
3. 左下にあるロックアイコンをクリックして変更します。続行するには、管理者アカウントの資格情報を入力するよう求められます。
4. TeamViewerの横にチェックを入れてアクセスを許可します。



5. セキュリティ&プライバシーウィンドウを閉じることができます。Macに接続している人は、マウスとキーボードでコントロールできるようになりました。そうでない場合は、TeamViewerの接続を閉じて、相手に再度Macに再接続するように依頼してください。

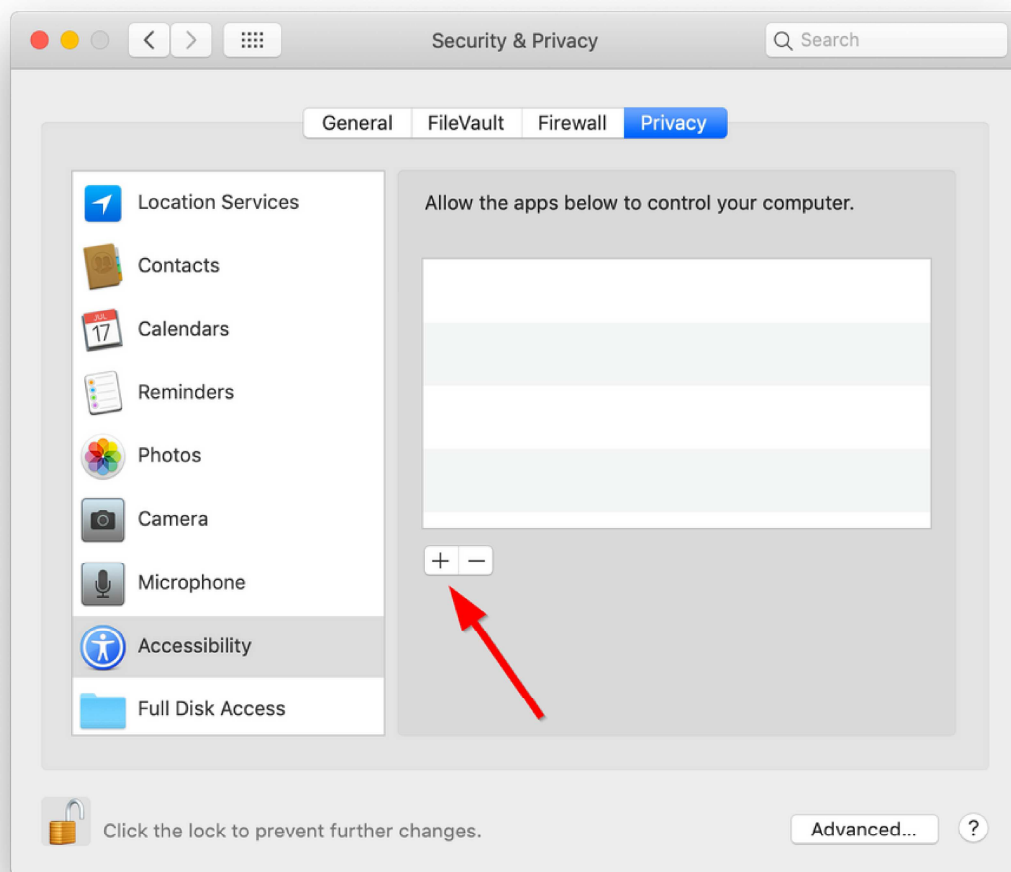
ダイアログが表示されていないときにアクセスを許可する方法

アクセシビリティアクセスダイアログが表示されず、TeamViewerへのアクセスを許可するか、以前にそのダイアログで「拒否」ボタンをクリックしていた場合でも、TeamViewerへのアクセスを許可することはできます。

さらに、TeamViewerをMacにインストールした直後、またはMacOS 10.14にアップグレードした後に最初にTeamViewerに接続する際に、TeamViewerへのアクセスを許可することができます。これはTeamViewerホストモジュールでは不可能であることに注意してください。

以下が設定方法です。

1. システム環境設定、セキュリティ&プライバシー、プライバシー、アクセシビリティの順に進みます。
2. 変更するには、ロックアイコンをクリックします。
3. TeamViewerが既にペインに表示されている場合は、そのチェックボックスをオンにして有効にします。
4. そうでない場合は、ペインの下のプラス記号の付いた小さなボタンをクリックします。Finderウィンドウが開きます。
5. [アプリケーション]フォルダに移動し、[TeamViewer]を選択して[開く]をクリックします。
6. これで、TeamViewerがペインに表示され、有効になっているはずです。

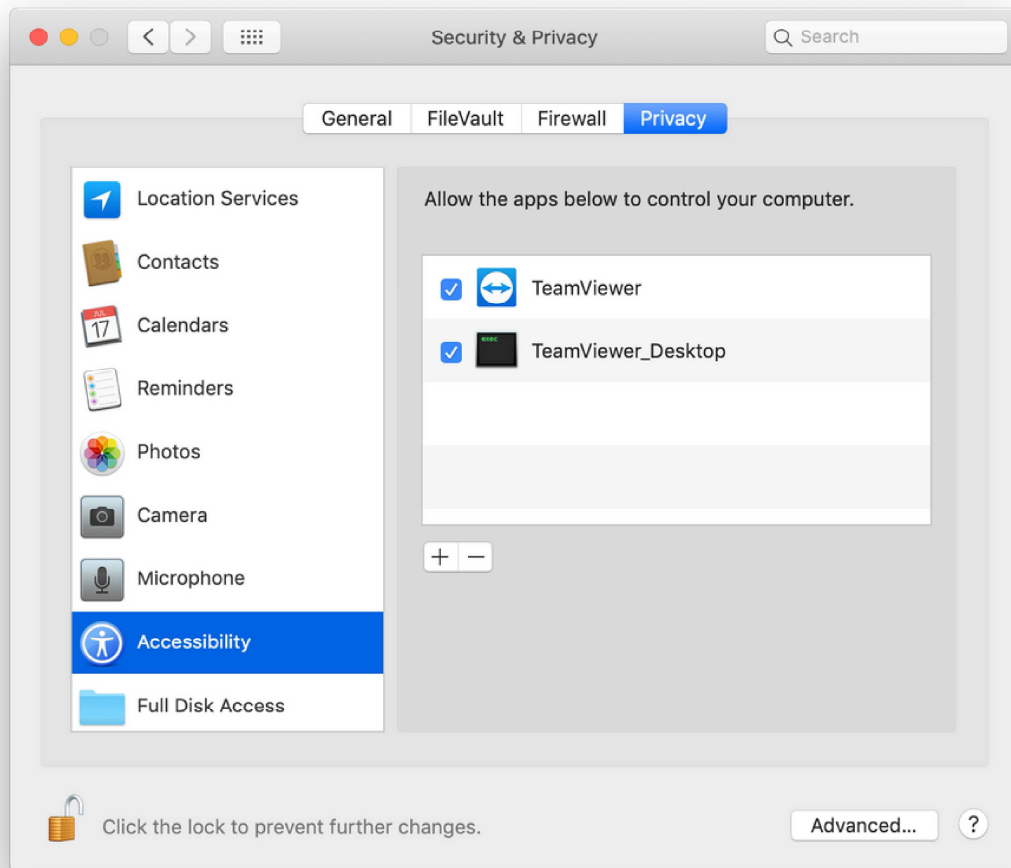


システムでTeamViewerを起動するときにアクセスを許可する方法

TeamViewerの[環境設定]にある[システムでTeamViewerを起動する]設定を有効にすると、TeamViewerはTeamViewer_Desktopという別のプロセスを使用して再起動します。

TeamViewer Hostを使用している場合も同様です。

これを実行した後初めてMacに接続すると、「アクセシビリティアクセス」ダイアログがもう一度表示されますが、今回は新しいプロセスを参照しています。上記の手順と同じ手順に従って、[システム環境設定を開く]ボタンをクリックしてもう一度アクセスを許可する必要があります。



残念ながら、TeamViewer_Desktopプロセスへのアクセスを手動で許可することはできません。このプロセスを追加する前に、Macへの最初の着信接続が完了するまで待つ必要があります。

バージョン履歴

最終更新: 21 Nov 2018, 3:46 PM